

加古川市における連携中枢都市圏制度の取組について

1 播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンにおける連携事業

加古川市連携事業数：49 事業

※姫路市のみが取り組む「(2) 高次の都市機能の集積・強化」を除く事業数：43 事業

■内訳

分類	全体	加古川市
(1) 圏域全体の経済成長のけん引	18	18
(2) 高次の都市機能の集積・強化	6	6
(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	32	25
ア 生活機能の強化に係る政策分野	20	15
イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	6	4
ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	6	6
合計	56	49

2 主な連携事業の進捗状況

(令和7年3月現在)

分類	ビジョン (頁)	事業名	主な事業内容、進捗状況
(1)	43	播磨圏域の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路市で開催の「全国都市問題会議」にて加古川市の紹介ブースを出展し、市のPRを行った。 ・圏域内の歴史や産業、文化等の資源や魅力について紹介する冊子「はりま読本」(全121ページ)を作成し、圏域内の小学6年生へのデータ配付等を通じて情報発信を行った。
(1)	50	企業誘致の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町の情報を記載した企業進出を促す案内パンフレット及び企業立地についてのアンケートを全国の6,000社に対して送付し、圏域の情報発信及び意向調査を行った。また、アンケートにより本市への立地意向が確認できた企業を訪問し、用地情報や補助制度等の案内を行った。
(1)	51	「播磨地域ブランド」の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・全国陶器市等の各種イベントにおいて物販ブースを出展し、播磨圏域内の地場産品等の販売・PRを実施。 ・播磨圏域内の日本酒のPRを目的とした「播磨の日本酒試飲会」を実施。
(1)	55	広域観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・広域観光パンフレットを作成し、イベントでの配布や、高速道路のサービスエリア(10箇所)での設置を行い、圏域外の住民に向けて、圏域の観光情報や魅力を発信した。 ・姫路観光情報サイト内に設置している広域観光情報ウェブページ「はりま路をゆく」により、圏域内の市町の魅力を発信した。
(1)	56	インバウンド観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・広域観光パンフレット「姫路・はりま」(英語、タイ語、マレー語、インドネシア語)、広域観光情報ウェブページ「はりま路をゆく」等を活用し、各種イベントで播磨圏域の観光PRを実施した。
(3)	77	図書館の相互利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・播磨圏域各市町在住者について加古川市の各図書館において利用登録の対象者として、貸出等の利用サービスを行っている。(令和6年度新規登録者数1,198人―新規登録者の約15%、令和7年4月現在登録者総数9,748人―登録者全体の約12%) また、加古川市在住者も圏域各市町の図書館に出向いて利用登録を行い、貸出等の利用サービスを受けることができる。 ・加古川市の図書館で利用登録を行った圏域各市町の在住者は、

			<p>Web サービス用のパスワードを登録して資料の予約や加古川市電子図書館の利用などができる。(令和7年6月現在2,661人-パスワード登録者全体の約12%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加古川市の図書館HPの「リンク集」に「8市8町相互利用図書館横断検索」サイトを設定している。(サイトのURL:https://uf-pub01.ufinity.jp/himeji_lib/)
(3)	81	若年者等の就業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークや経営者協会等と連携し、関係市町の事業者や求職者等を対象とした合同企業説明会を開催した。 (加古川市開催:2回 加古川市内参加事業者数:17社)
(3)	98	職員研修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・8市8町1団体で構成される播磨自治研修協議会が主催する研修に、延べ89名の職員(受講生88名、講師1名)を派遣した。また、実施された研修(全25講座)のうち3講座について事務を担い研修を実施した。